

## 陸前高田発

### 啄木の歌碑設置



津波に襲われた陸前高田市の高田松原の道の駅駐車場に、石川啄木の没後百年記念事業の一環として啄木の歌碑が再び設置されました。啄木のふるさとにある姫神山中で採られた「姫神小桜石」に、ひ孫の石川真一さんの揮毫で、「頬につたふ なみだのごはず 一握の砂を示しし人を忘れず」と歌が刻まれています。啄木も盛岡中学校時代に訪れた高田松原には震災前も別の歌の歌碑がありました。津波で流されました。集まった人たちは「はかなさや自然の摂理を教えてくれた人を忘れない」という内容の歌を見て、犠牲者1人1人を忘れまいと、思いを新たにしていました。  
(10/14 ニュースエコー)



## 山田発

### ウィーンフィル演奏会

世界屈指のオーケストラとして知られるオーストリアのウィーンフィルとサントリー音楽復興基金が協力して行っている被災地支援事業の一環として、ウィーンフィルのメンバー7人が山田町の中学校でコンサートを開きました。生徒と近くに住む仮設団地の住民合わせて約450人が美しい音色のハーモニーに酔いしれました。世界トップレベルの演奏を生で体感した生徒らは、「貴重な体験でありがたい」と話していました。ウィーンフィルでは、今後もこうした形の支援コンサートを続けていく予定です。(10/14 ニュースエコー)



## 震災遺構保存

### 復興交付金から支援



東日本大震災の津波被害を受けた建造物、いわゆる「震災遺構」について、市町村と住民がその保存に合意している場合、国は各市町村1か所

に限り、遺構保存のための初期費用を復興交付金で支援することになりました。保存のための補強や改修に対して支援金が出されるのは初めてです。県内では宮古市が「たろう観光ホテル」の保存を決め、国などに支援を求めてきました。早ければ今月末にも支援が決まる見通しです。(10/15 ニュースエコー)

## 県内の全線着工

### 三陸沿岸道路

三陸沿岸道路の田野畑村と普代村を結ぶ区間8キロの「尾肝要（おかんよう）普代道路」の起工式が行われました。これで震災からの復興に大きな役割が期待される三陸沿岸道路は県内の全線で工事に着手しました。被災地復興を担う道路として事業化されてから2年、通常の道路に比べ半分の期間での着工です。県内の三陸沿岸道路の区間は213キロで、2020年頃の全線開通を目指しています。  
(11/18 ニュースエコー)



## 宮古発

### さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村彩子さんが、毎週月曜日午後放送の「自治会長さん、こんにちは！」というコーナーについて話してくれました。宮古市内の自治会を紹介するもので、仮設住宅の自治会長さんも登場しています。その中では、皆が顔を合わせる場所を多く作ろうと催し物を企画したり、盆踊り大会を開いたり、いろいろな取り組みをしている事などを紹介しているそうです。また、やっと建設が始まった災害公営住宅も含めて、今後の生活への不安や課題などの話も出ていて、宮古の「今」を伝える番組になっているようです。(11/20)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122